

納涼おはなし会

怖い話
限定
お話し会!

in 平良図書館



去る8月4日(土)に平良図書館で夏休みにみんなにこわいお話を聞いて涼しくなってもらおう! ということで納涼おはなし会を開催致しました。普段と違って真っ暗な夜に聞くこわ〜いお話は、迫力満点☆
たくさんの方に来ていただけて図書館おぼけも大満足♪



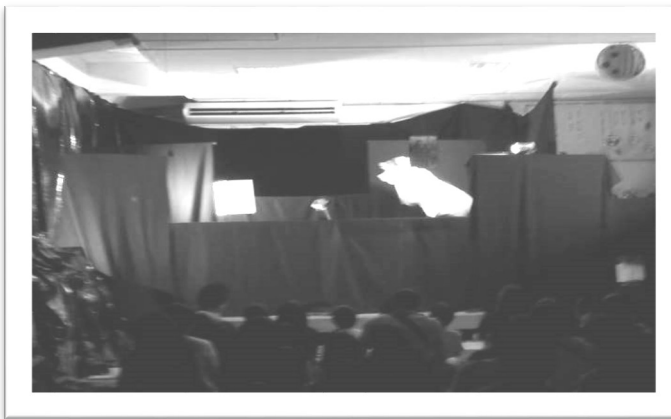
▲どきどき! 開始まであと少し・・・



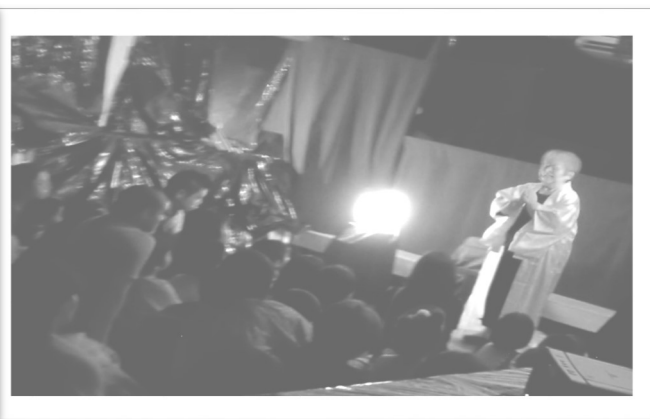
▲お話し会が始まるよ～!



▲妖怪クイズ! 何問わかるかな?



▲うたのパペット、おばけなんてウソさあ～♪



▲ここからが本番の怪談話。片足ピンザの話もありました

最後のお話はびっくりするような仕掛けがあって、みんなドキドキできたのではないのでしょうか♪

納涼とは【暑さを避けて涼しさを味わうこと】という意味だそうです。

宮古島の長くて暑い夏を図書館や怖いお話を聞いた
いして、上手に楽しく過ごしましょう!

来年は新しい図書館でお会いしましょう♪



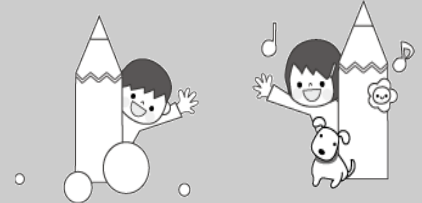
パニパニ☆スクール

市内小中学校で児童生徒が元気に取り組んでいるユニークな活動や取り組みを紹介するコーナーです。

楽しさいっぱい鏡原小学校放課後子ども教室

鏡原小学校には、空いている教室がないため開室が難しいかと思われましたが、お母さん方の熱い思いがあり地域の公民館（地盛）などを利用して開催が実現しました。

この子ども教室のボランティアスタッフのお母さん方ですが、多くは読み聞かせに参加して下さっています。ちなみに、読み聞かせには、地域の方もいらっしゃり鏡原小学校を支えて下さっています。夏休みも子ども達のサマースクールに合わせて開催されました。普段は、工作などを行うことが多いようですが、この日は、特別ゲストをお招きしての実施となりました。その特別講師とは、英語の下地先生です。先生の話では1年生から6年生までいる子ども達を相手に、難しさを感じたようですが、みんなが元気よく答えてくれたので楽しかったとのことです。ふだんの教室とは、違う放課後子ども教室に子ども達も楽しめたようで、アンコールがあったそうです。ボランティアの皆さん、下地先生楽しい企画本当にありがとうございました。夏休み後半には、絵画・切り絵・シーサー作りを予定しています。多くの子ども達が、参加希望をしています。思い出っぴいの作品ができる事を願っています。



教育研究所

第18期研究員による取り組みについて

4月4日城辺庁舎2階において宮古島市立佐良浜小学校新城直人教諭、佐良浜中学校友利芳江教諭2人の研究員の入所式が行われました。4月13日に琉球大学教育学部の大城賢教授からテーマ検討の助言をいただきました。「主体的にコミュニケーションを図る資質・能力の育成～結の橋Eプランの作成を通して～」を研究テーマに新学習指導要領に準じた外国語活動・英語のカリキュラムづくりを行っています。英語等の実践で先行的に小中連携を行っている緑風学園や高い授業力を実践している琉球大学附属小中学校を視察し研究研鑽力を高めていきました。7月3日には単元カリキュラムや指導法についての中間発表を行い、7月12日には単元カリキュラムから授業を立案し検証授業を佐良浜小学校1年生に実施しました。「色を伝えよう」という題材で授業が進められ、絵本の活用や色塗り、相手に伝え合うという活動を通して小学1年生ながらも友達に色を英語で伝え合う事ができました。今後はカリキュラムの修正を行い、9月の研究発表へと研究は続いていきます。



連載

文化財を巡る

『大嶽城跡(ウプタキじょうせき)』

No.33



大嶽城跡は、現在の自衛隊基地や大嶽公園のある丘陵地に位置する十四世紀頃の遺跡です。宮古島のほぼ中心部に位置し、標高一〇八・六mの野原岳は、宮古島市内においても有数の高地であり、公園内の展望台からは、来間島や伊良部島までを眺望することができます。

一七二七年に編纂された『雍正旧記』には、大嶽城跡は、大嶽按司の居城で、その規模は長さ五拾八間(一〇四・四m)、横五拾四間(九七・二m)と記されており、宮古島市内では最大規模の城跡であったとされます。しかし残念ながら、現在では『雍正旧記』に記されたような石積を確認することはできません。

稲村賢敷が記した『宮古島庶民史』には、大嶽城跡が与那覇原軍によって攻め滅ばされた様子が記されています。与那覇原軍とは、与那覇原の一角を拠点とする集団が、宮古島市内の集落へ侵攻していく一連の争乱を総称しています。与那覇原軍によって、大嶽城跡の他にもミヌズマの集落、高腰城跡、大浦多志城跡などが攻め滅ばされています。

『宮古島庶民史』の中では、大嶽按司が亡くなり、与那覇原の軍勢が攻めてきたとき、次男の知呂按司は東門を守り、三男の金丸金按司は西門を守っていました。次男の知呂按司は、二人の按司はそれぞれが守っていた門の付近で討ち死にしたとあります。現在では、東門があったとされる場所はナカ御嶽、西門があったとされる場所はイス御嶽となっており、現在でもそれぞれの御嶽で二人の按司を祭神として祀っています。

長男のピギタリは、農業を好み武芸を嫌っていたた

め、戦をさけて山伝いに逃げて助かったとされます。ピギタリは、戦が終わった後ミガマラと夫婦になり七男七女をもうけ、百歳の天寿をまっとうしたとされます。現在、ピギタリは農業神としてウブ御嶽に祀られています。

二〇〇九年に、大嶽城跡の範囲である自衛隊基地内で、建物建設工事に伴い発掘調査が行われました。この時の発掘調査では、初めて大嶽城跡の時代の生活層が確認され、中国産陶磁器や銭貨(北宋銭「元符通寶」)、カムイヤキ(鹿児島県徳之島産)、土器などの遺物が出土しています。土器は野城式土器とよばれる鍋形の土器でおよそ十四世紀に位置づけられる土器です。

大嶽城跡は、昭和五一(一九七六)年七月五日に旧上野村の史跡に指定されており、関連する文化財としてマイガー、クスヌカーなどの井泉が現在でも残されており、また、大嶽公園の植物群落についても史跡と同日付で天然記念物に指定されています。

史跡 大嶽城跡(ウプタキじょうせき)



TOPICS

バレーボール大会

平成30年6月10日(日)、気軽に楽しめる「ソフトバレーボール」を通して、市民の体力維持向上、親睦並びに生涯スポーツの普及推進を図ることを目的として、市民スポーツ課・宮古島市スポーツ推進委員協議会(上地堅司会長)は、昨年に続きソフトバレーボール大会を開催しました。小学低学年から一般まで19チームが熱戦を繰り広げました。優勝はすべての部門で佐良浜チームでした。



かけっこ教室

夏休みが終われば運動会シーズン。「少しでも速く走れるようになりたい」。市民スポーツ課・宮古島市スポーツ推進委員協議会(上地堅司会長)では、そう願う小学生を対象に、平成30年7月29日(日)、「かけっこ教室」を開催しました。約50名の子供たちが基礎練習に汗を流していました。参加した子供たち、速くなっているはずですよ。

